

令和元年度 碧南市青少年問題協議会 会議録

1 日 時 令和元年6月26日(水) 午後2時～午後3時40分

2 場 所 碧南市文化会館 5階 研修室1

3 出席者及び欠席者

(1) 出席者 生田 弘幸、 池田 定史、 長田 豊治、 杉浦 民生  
切江 泰仁、 岩瀬 弘朋、 角谷 竹虎、 佐藤 聖志  
斎藤 邦生、 米村 寛美、 二宮 直樹

(2) 欠席者 河原 厚司、 伊豫田祥子、 山村 孝幸

(3) 事務局職員

学校教育課長 鈴木 裕

学校教育課生徒指導担当主事 石原 竹春

生涯学習課長 石川 素子

生涯学習課係長 水野 雄一、 生涯学習課担当 高橋 泰

(4) 傍聴者 0人

4 議事の要旨

(1) 会長の選任およびあいさつ

事務局が会長に 生田 弘幸 委員を選任。

(会長のあいさつ)

あいさつ後、14名中11名の出席を確認し、本会の成立を確認。

(2) 副会長の指名

会長が副会長に 角谷 竹虎 委員を指名。

(3) 青少年問題協議会の役割と活動

事務局から、資料3・4により、青少年育成関係機関組織表及び令和元年度青少年育成事業基本方針について説明した。本提案についての質疑は以下のとおり。

(主な質疑)

A委員：本協議会の委員は22人以内とされている。幅広く多くの方から意見を集めるという趣旨からその定員が定められていると思うが、現状を見るとここ数年は14名の状態が続いている。今後、増やす予定はあるか。

事務局：発足当初の社会情勢と比べると、ずいぶん落ち着いた状況が見られる。それに応じ、構成人数を減らし、開催回数も減らしてきている。委員は2年任期であるが、改選にあたる年には、市民公募を行っている。いろいろな立場の方からの意見を伺った方がよいということであれば、ここで話し合っただけであればよい。

会 長：本会議は青少年関係で大きな問題が生じた場合に緊急に開かれる会議である。また、「いじめ問題連絡協議会」の機能も付加されている。そのため、状況によっては、5回、10回と回数を重ねることもある。臨時招集

等に備える上でも人数をある程度限定して絞ったほうが機能的であると考える。

(4) 小・中学校の問題行動・いじめ等の現状について

事務局から、資料5により、市内小中学校の問題行動・いじめ等の現状についての説明がなされた。

資料に基いた説明以外に、現在、不登校・引きこもり状況にあった生徒の中学卒業後の追跡調査を行っている旨、報告があった。これは、最近、引きこもり等社会不適応の大人の周りで事件が多く発生しており、社会不適応該当者への支援が求められていることに起因している。まず対象者の実態を把握することが必要と考えられたためということであった。

これら現状報告についての質疑は以下のとおり。

(主な質疑)

会 長：教育委員会として少し補足する。今、本市では引きこもり対応として、巡回カウンセラーを設置し、家庭訪問を行っている。また、最近、外国人生徒の転入が多く、市内小中学校に400人ほどいる。慣習や言葉の問題からじっとしておられない子どもも多く、発達障害児に対応して配置したスクールアシスタントや補助員を増員し手厚く指導するようにしている。

B委員：不登校の現状について、学校によって人数にばらつきがあるのか、全国的に比較して多いのか、もう少し知りたい。

学校教育課指導主事：不登校の出現率は、市内で最も少ない学校で0.33%、多い学校で4.11%である。全国平均が3.2%に対して本市は2.68%で、全国平均を下回っている。

B委員：1年からずっと不登校の子もいれば、3年から急に来られなくなる子もあると思われるが。

学校教育課指導主事：全欠席者は中学校で3人いる。年間30日以上欠席の生徒を不登校生徒としているため、月に3日ほど休む生徒も全欠席の生徒も同等に扱われてしまう。中1ショック等言われるように中1、2年で欠席が増える生徒はしばしば見られる。しかし、3年になって進路指導を進める中で欠席が減っていく生徒もよく見られる。

B委員：中学を卒業して、その後社会を生き抜いていく力があるのか心配になることも多い。在学中に何とか指導していただけるとありがたい。

会 長：今、日本では61万3000人のニートがいると言われている。働くべき年齢で働けていない現状がある。小中学生だけでなく、これら成人した人たちをどうするかということも今後考えていかなければならない。

A委員：最近、子どもの安心安全を脅かす事件や事故が日本各地で起こっている。この現状を防犯協会の立場として大変危惧している。「子ども110番の家」ののぼりやステッカーが街中で見られる。これは、子ども

たちが危険に遭遇したときに駆け込める家ということで通学路を中心に設置されたと思う。この旗が立っているだけで、大人の目が認識され犯罪抑止力につながると思われる。しかし、これもずいぶん以前からの取り組みで形骸化しており、学校の意識が薄くなっている。そこで、学校があらためて意識して指導活用に努めてほしい。また、行政も活用できるようあらためて予算立てして取り組みを見直してもらいたい。

学校教育課指導主事：地図の「ゼンリン」という会社が3年に1回「子ども110番の家マップ」を小学校を通して全家庭に配布している。また、新潟の事件の折に、警察とともに通学路安全点検を行った。今年度、川崎の事件の折に、110番の家周知のために、各学校にマップを配布し、意識を促した。

C委員：「子ども110番の家」をお願いする家とかに基準はあるのか。

D委員：マップにある「子ども110番の家」については、ゼンリンという会社を通して、スポンサー登録した上でマップに掲載してもらえる。私は、店を営んでおり子どもたちが気軽に寄れる環境にあるので登録している。

C委員：駆け込みたくても留守にしているのは意味がない。そこで、いつでも駆け込めるような家を確保しているのか知りたい。そういった家をできるだけ多く確保し周知していただけるよう行政に期待したい。

人権擁護委員の活動にSOSミニレターや悩み相談を行っている。最近活用事例が増えてきたが、活用されてこそ活動に意味が生じてくる。「子ども110番の家」もあるということではなく、いざというときに効果のある取り組みになっていかなければならないと思う。

D委員：役立ててほしいと願って、マップを配布している。各家庭でそのマップが活かしていただけるよう、学校から配布する際に、家庭でマップを元に話し合いができるよう先生方から口添えしていただけるとありがたい。

E委員：「子ども110番の家」は、平成9年に始まった取り組みで、小学校が通学路を中心に候補の家をあげ、そのご家庭に警察が委嘱することでスタートした。碧南市は、これに加え、商店街が中心となって別に「子ども110番の家」を登録している。それからすいぶん年月が経過しており、現在その家が逃げ込める状態にあるのか見直されていないのが現状である。表示の旗やプレートが古くわかりにくくなったとか言うことではなく、実際に機能する状態にあるのかどうか、いろいろな事件が起こっている今、見直す価値は十分にあると思う。

まずは、通学路を基準に、そして、商店街の取り組みを加えて整理してみる必要がある。

A委員：碧南市商店街連盟が各商店に「子ども110番の家」を募集し、連盟として登録した。現状を見るに、ゼンリンが3年に1度行うのではなく、教育委員会が主導して毎年見直して各学校、各家庭に周知していく

ようにすべきではないか。

会 長：教育委員会だけにとどまるのではなく、地域を含めてもっと幅広く市行政として取り組めるよう図っていく。

事務局：市内7小学校区に青少年育成地区推進委員会がある。この会議は各種団体の代表者が集まっている。学校だけでなくこれらの会議を活用して地区の意見を取り入れながら、「子ども110番の家」の候補の見直しを行うとともに、有効な活動をなるよう取り組みを整えていく。

(会議後の確認から)

・「子ども110番の家」ののぼり旗は地域協働課が毎年作成し、商工会議所を通して配布している。

## (6) 情報交換

碧南警察署管内の犯罪・触法少年補導状況について

碧南警察署 生活安全課長 切江 泰仁 氏が資料6（個人情報等があるため、資料は非公表）に基づき、犯罪・触法補導状況について所感を加えて説明。

- ・碧南市は犯罪が少なく、検挙も少ない。
- ・窃盗の半数以上は万引きである。全体の窃盗は減少しているが、万引きは減っていない。
- ・碧南市内では見られないが、オレオレ詐欺などの受け子として犯罪に巻き込まれている少年が今後心配される。
- ・補導状況では、割合として、飲酒喫煙は少なく、深夜はいかいが大半を占めている。深夜はいかいの場所としては、コンビニや公共施設の近くが多い。これは、無料wi-fiが使えることが要因としてあげられる。
- ・飲酒、喫煙、薬物は、子どもたちにとってはファッションである。現在、喫煙はカッコいいという印象がないため、件数が少ない。
- ・引きこもりは、大きく分けて2種類。1つは社会的不適応で、家から全く出ない、家族ともあまり接触できない者。1つは家から出ないが、ネット社会には積極的に出ていく者。ユーチューバーを名乗る者も多く、偏った思想や情報で自分を正当化していることが多く見られる。
- ・ネット犯罪にかかわる加害者被害者となる少年は多い。スマホなどを与える前に使い方をきちんと指導するよう働きかけたい。
- ・自転車の無施錠が多い。子どものうちから鍵をかける習慣を身につけさせたい。それが、家の施錠にもつながってくる。

(質疑は特になし)